

## □ トピック □ SNSから「炎上」する異物混入事故とその残り火

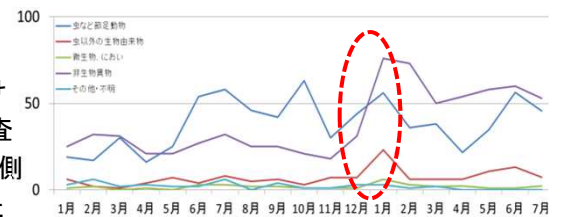
近年の異物混入事故の発生と対策の初動で無視できないのが、ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアが発端となる「拡散」です。記憶に新しいものでは昨年12月、「カップ焼きそばにクロゴキブリが混入」した事件で、全商品自主回収、半年以上の営業自粛、製造ラインの一新という事態になりました。また、某大手ファーストフードの商品に異物が混入した事件は、他のメディアでも連日取り上げられ売上が激減、それも引き金になり約150店舗が閉店するという事態になりました。さらにSNSにメーカー側の対応状況などが、すぐに投稿される事も多く見受けられました。

気軽に身近で起こったことの投稿から、拡散や炎上に展開していくことは珍しくなくなりましたが、投稿側の主観によるものが多いのも事実で、中には誇張や誤情報もありました。

ところで右図は弊社で実際に行った異物検査件数のグラフです。

赤丸をしている箇所は「異物混入事件」の連鎖で社会が大きな衝撃を受けた時期と合致し、これ以降弊社へのご相談が増え、例年と比べ約3倍の検査数となりました。これは異物に対するクレーム件数が増えたことと、メーカー側が以前は社内処理にて対応していたことを、第三者に依頼するようになったことが考えられます。

情報の伝達が早くなった現在、異物混入事故事例はあっという間に世間に広がるため、正確な情報の把握と短時間での対応が求められます。



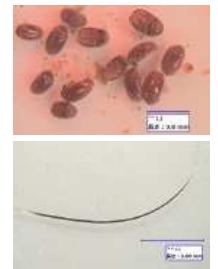
弊社、異物検査件数  
(2014年1月～2015年7月)

## □ お知らせ □ 異物混入再発防止対策

消費者の食品に対する安心・安全への意識が高い現在では、異物混入がメディアに取り上げられた場合、企業の存続にまで影響がでる事例が増えています。万が一混入事故があった場合、異物自体がどのようなものかの検査は必須ですが、その後は再発防止対策を取る必要があります。

弊社では、異物としてよく見られる虫や毛髪などの生物由来物や、金属・樹脂片などの非生物由来物の成分分析などの異物検査を素早く行う(1~3営業日以内)とともに、ご要望に応じて再発防止対策のための検証と、それに基づく対策提示を行っております。さらに異物混入を発生させないための体制整備(衛生規格コンサルティング、衛生点検、動物昆虫相調査、衛生指導・講習会等)、直接的な対策としての清掃サービス、防虫防鼠資材・洗浄機等の販売も行っており、ソフト・ハード面に関わらず総合的に対応しています。

異物の分析や対策などにお困りでしたら、お気軽にご相談ください。



上: 乾燥食品に発生したタバコシバムシ  
下: 製品に混入したヒトのみつ毛

## □ 豆知識 □ 咳、くしゃみを何気なくしていませんか？

寒い季節になると体が冷えます。すると血管が収縮して血流が悪くなり、乾燥もあいまって粘膜も弱り、抵抗力が落ちるため、冬期に死滅しにくいウイルスが体内に侵入しやすくなります。運悪く体が負けて発症すると咳やくしゃみ、発熱、おう吐、下痢、関節痛など様々な症状が出ますが、今回は咳やくしゃみに関して取り上げます。体調が悪いと悪気もなく咳やくしゃみをされている方もいると思いますが、それによって菌やウイルスを唾に乗せて意外と遠くまで飛散させていることがあります。

東京都立衛生研究所の調査では、右の表のように飛距離とウイルス放出数が測定されています。風邪やインフルエンザなどにかかり、咳やくしゃみの症状がで始めたらマスクを着用し、口を覆って、できるだけ唾を飛ばさないようにしましょう。また、マスクを着用すれば体内へのウイルスの侵入を約3割減らすことができます。冬期はこれらの感染症に移らないよう、そして人に移さないよう心がけ、健康な生活が送れるようにしましょう。



	咳	くしゃみ
唾飛距離	約2m	約3m
ウイルス放出数	約10万個	約200万個

咳、くしゃみの唾飛距離・ウイルス放出数



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山

関東(市川)